

会報

64号

れきふ

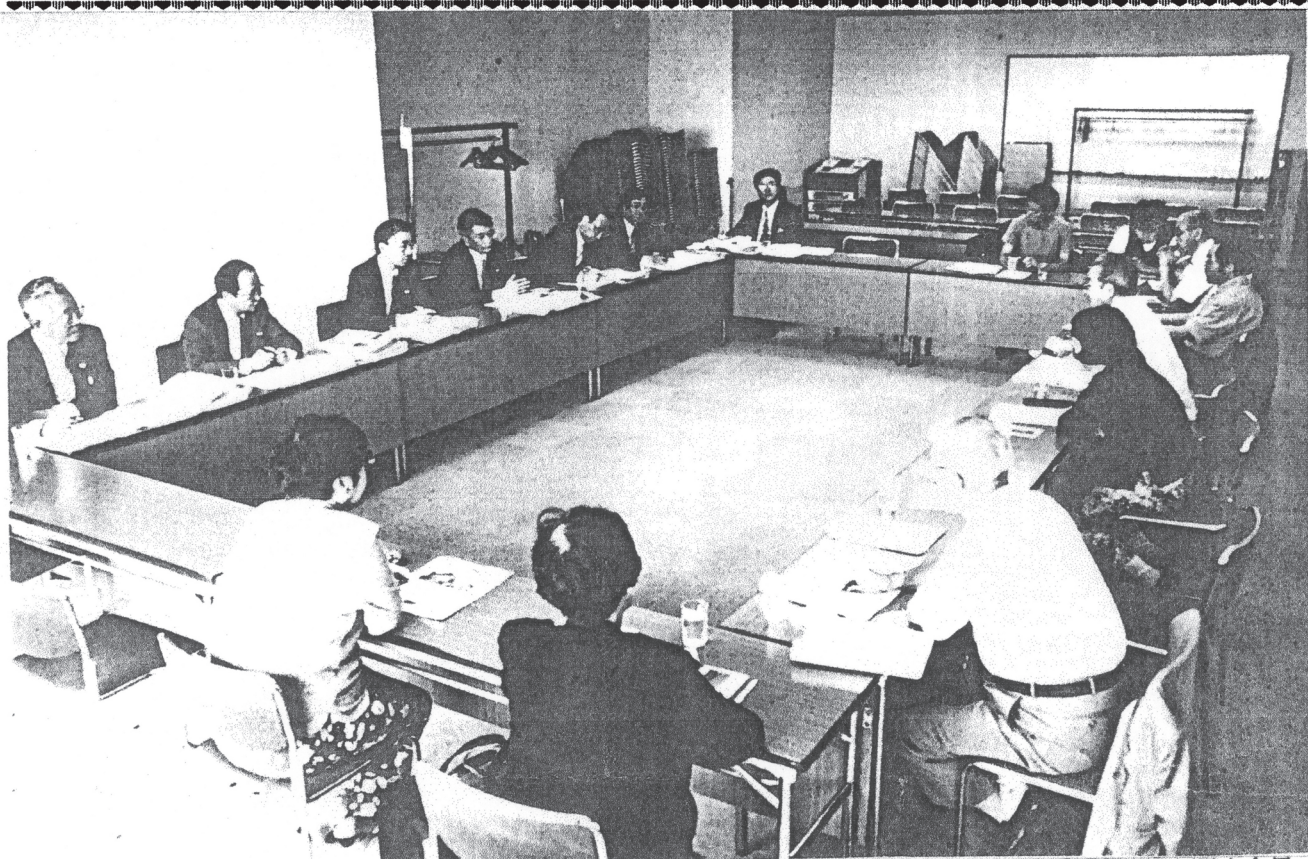
函館の歴史的風土を守る会会報

No. 64 H11. 11. 10

発行所 函館の歴史的風土を守る会
事務局 函館市五稜郭町43-9

五稜郭タワー株式会社(両角)
電話(0138) 51-4785

編集 れきふ編集部



＝建造物の保存で関係部(写真左側)から説明を聞く会員

市と歴風会が懇談会

市の条例で指定した「歴史的景観地域」や「伝統的建造物群保存地区」の外にある貴重な歴史的建造物が朽ち果てようとする姿を見るにつけ心を痛めています。

このような建築物を修復(復元)して、保存や活用をする道はないだろうか、市民が考える現地探訪会を9月4日に開催しました。(参照3～4面グラフ)

これらをふまえて9月6日、市役所会議室で市の関係部課と懇談会を行ないました。主に文化財の保存に関して、行政側の取り組みなどを説明してもらうもので市分庁舎、旧露領事館、旧西警察署などこれまでに報道されている域を出た情報はなく、復元方法など市民の合意が得れるか課題が多いことがわかりました。

問題は、市民がニーズをもっと明確に打ち出す事が大切だと思いました。また、国の管理下にある旧検疫所については、市側から行政がまたがる水面下での苦労など聞き、考えを新たにしました。

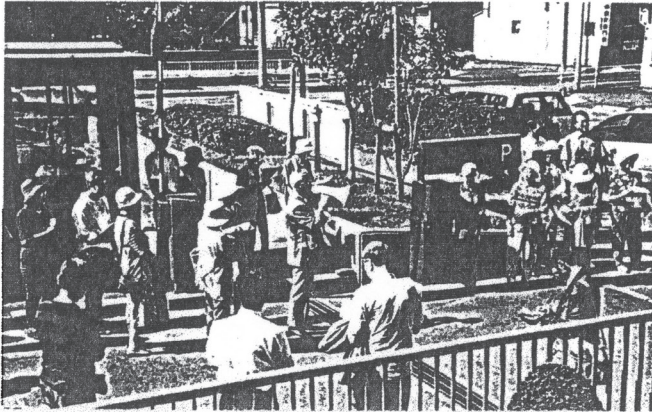
懇談会の申し入れに市管理課、国際交流課、都市デザイン課、総務課、駅周辺事業課の課長、係長の7人が出席、探訪会は休日の現地対応など配慮を下さりお礼申し上げます。

歴史的景観は函館の誇る文化そのもので、国際観光都市の資産でもあります。先人が伝えてくれたメッセージの重さを、市民と行政が英知を結集、一体となり守り、次代に引き継ぎたく考えます。(石井)

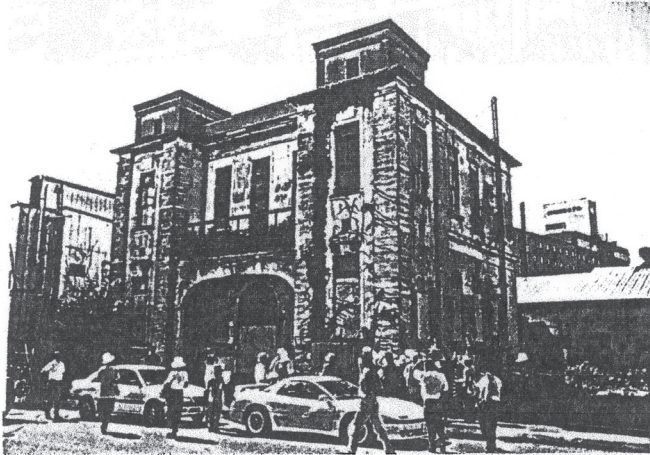
——朽ち果てるを待つ歴史的建築——

旧函館検疫所など 6カ所を視察

歴風会主催のフォーラム(3/13)や総会の論議に基づき、歴史的建造物等の保存・活用問題を検討する現地視察会が9月4日、市民ら合わせて32人が参加して行なわれました。今回は、①旧道漁業公社②市末広町分庁舎③旧函館検疫所④旧道南青年の家⑤旧函館西警察署⑥厄崎製罐工場を見ました。⑥は連絡の手違いで外観だけに終わりました。(編集部)



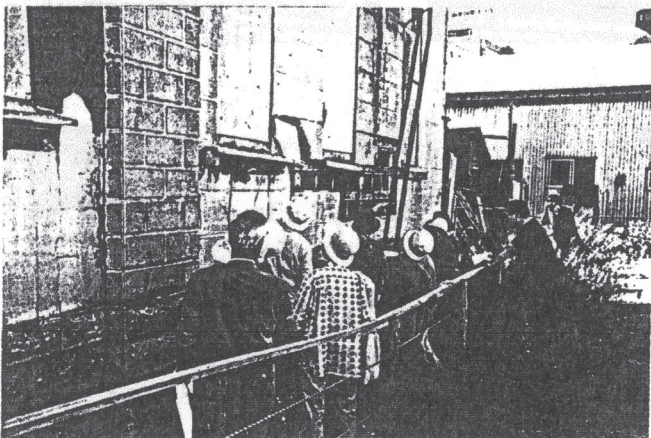
30人制約で市役所前に集合、出発前の説明(9:30am)



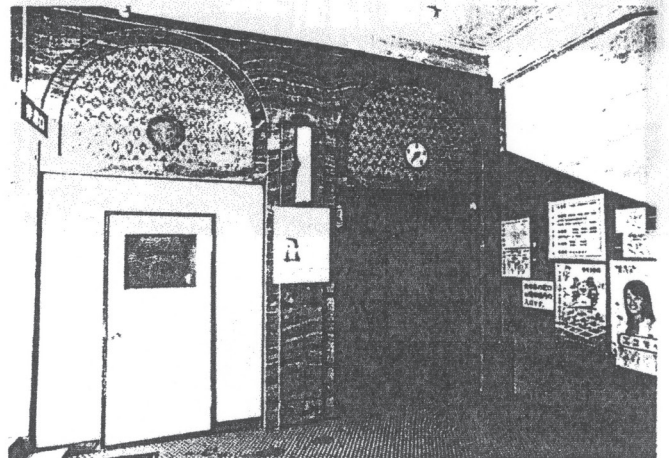
↑①A バルコニーが連絡船に向けた1918年建設の民有



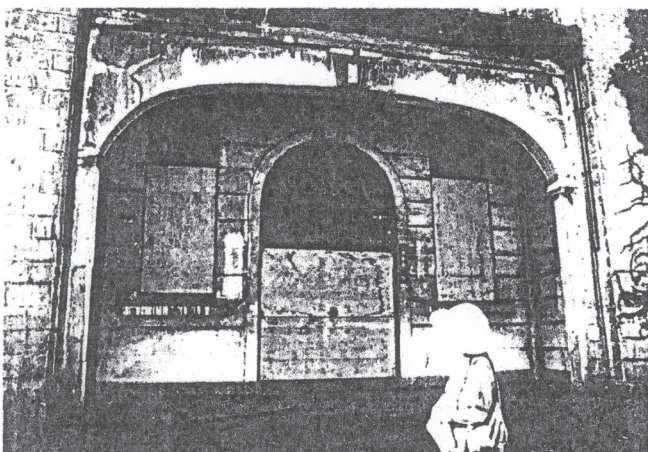
↑②A 市分庁舎1923年建設3階建、後5階建に増築



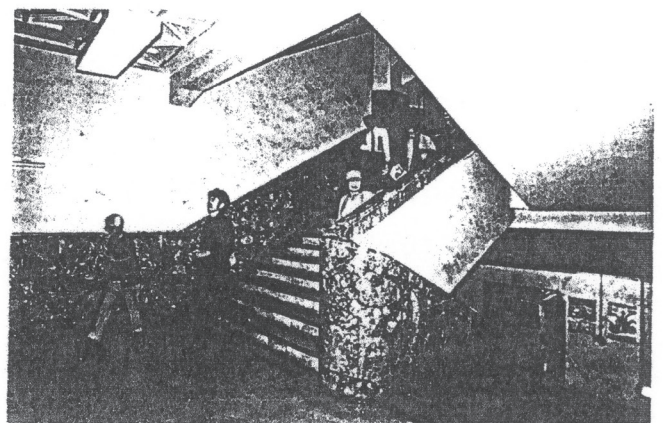
↑①B 木造2階建の側壁が剥がれ腐食した部材



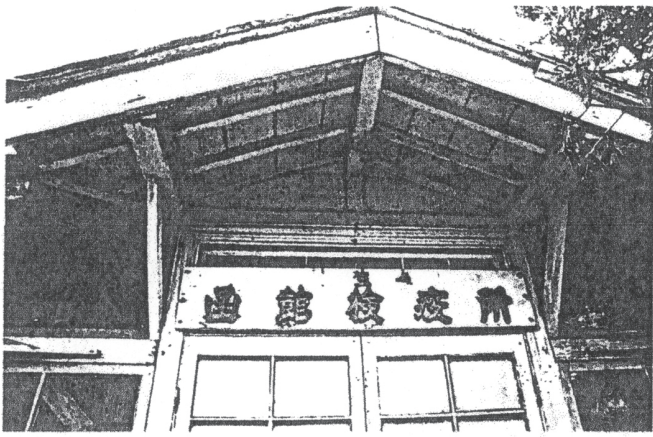
↑②B 旧今井百貨店の2基のリフト、右側のみ活躍中



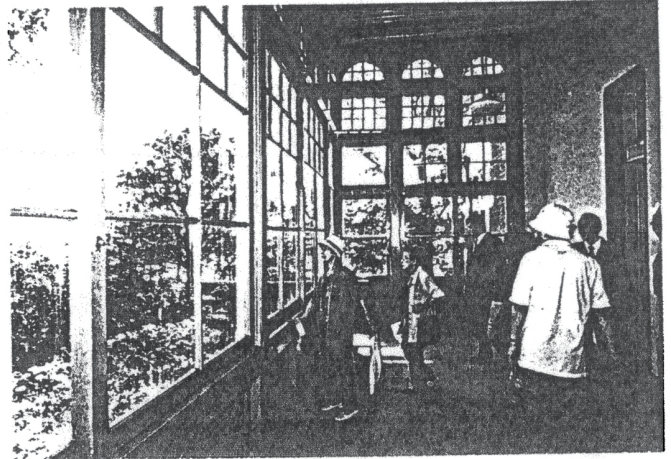
①C 円弧形玄関、板張りで封鎖され内部は見えない



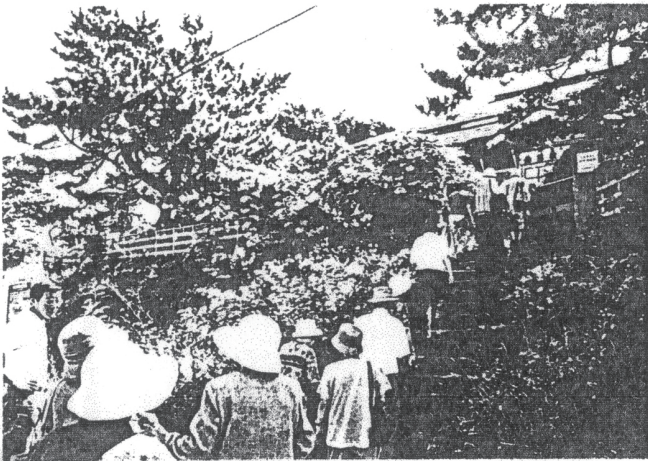
②C 昭和9年大火に耐えて現在も使用中の階段と踊場



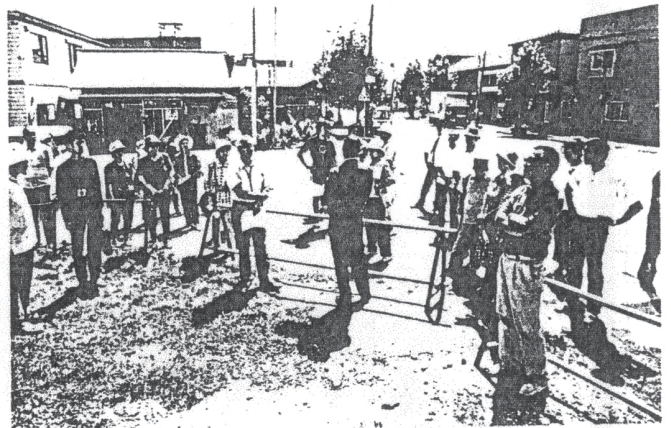
↑③A 旧函館検疫所の玄関、国が管理してる＝船見町



↑④B 港を見下せる1Fのガラス張りテラスの大広間



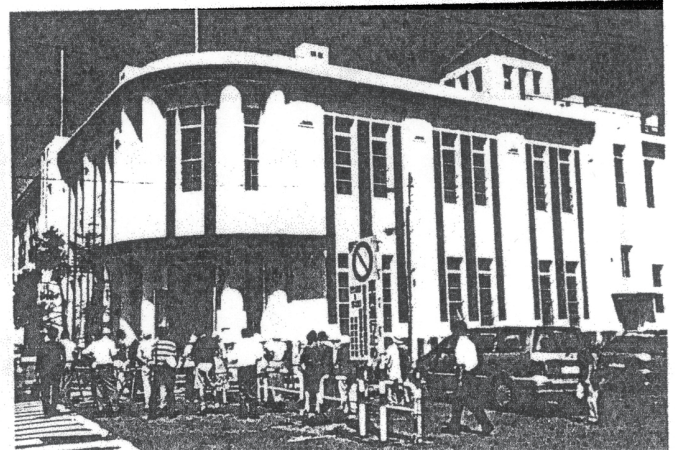
↑③B 函館の検疫は1877年に始まり、開所は1886年



↑⑤A 7月と二度目の見学、今回は市の案内で内部も



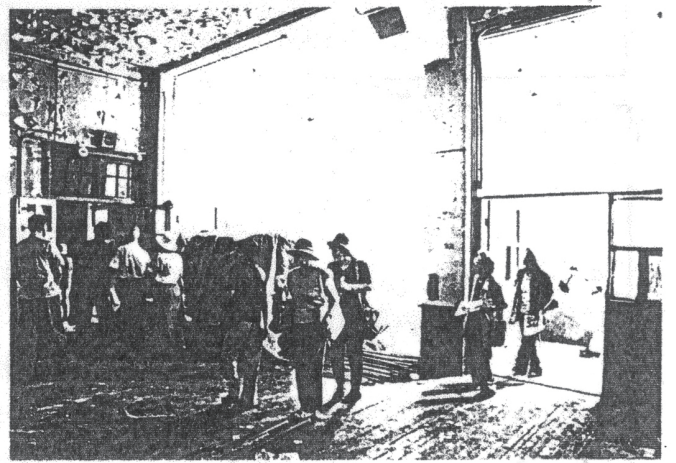
↑③C 港口の丘に建ち解体で現部分を残し荒廃が進む



↑⑤B 外観の維持を図った1926年建設の旧西警察署



④A 旧露領事館1908年建設、道南青年の家退去で閉鎖



⑤C 耐力調査で保存は困難と判断された庁舎内部だが

【会 員 通 信】

□ 拝復 返信が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。入会して日も浅く、過去のいきさつや経過が分かりませんので、今回の「暦風文化賞の推薦」については、遠慮させていただきます。もう少し勉強させていただいてから、推薦させていただきます。本州(関西)育ちなものですから、つい知らず知らずの内に、関西と函館を比較して眺める癖があります。関西にこんなものがあったら、大騒ぎになるだろうと思うようなものが、函館近郊に見出し「何でこんなものが、投げっぱなしになっているんだろう」と驚くことことがしばしばあります。先日も「度々散策に出掛けますが」見晴町の香雪園の中で、さほど古いものでないのかも知れませんが木造和風の建物を見てビックリしました。良く見ると、茶室とも見えますが、周辺の池と庭園も手入れもされず、建物ももう何年も掃除もされず、朽ち果てて行く姿を見て、何とか活用

出来ないのかと思いました。園遊会・茶会・パーティー等々に使えないものでしょうか。

深堀町 清水 源太郎さん

□ 函館を離れて10年余り、函館との縁も薄くなりましたが、せめて会費を払うだけで多少の協力と思っています。お許し下さい。

札幌市 大森 好男さん

□ 皆様のご活躍に敬意を表します。ますます、ご盛会でありますように、まだまだお暑うございます。どうぞお体ご自愛下さい。

函館市 齊藤 サダさん

□ 函館山要塞の件、喝采を送ります。函館に12年振りで戻りました。勉強させて下さい。町並みの変貌に驚いています。「暦風文化賞」今は提案出来ません。お委せ申します。

函館市 清野 きみさん

【会 務 報 告】

9/25/26 函館山(旧陸軍要塞)
勉強会・見学会・懇親会
10/2.3 汐首要塞 勉強会・見学会
10/9～10/11
『開港5都市景観まちづくり会議』
神戸大会(神戸市)
10/8～10/10
『第22回全国町並みゼミ』
臼杵大会(臼杵市)

【受 信 一 覧】

10/2 町並み連盟より 第13号 入手
10/6 大野ぶんぽけん 第85号 入手
10/8 日本ナショナルトラストから平成12年度観光資源保護調査対象応募要項入手

■『墨田文化の世界を訪ねて』

11/3～11/4 「源氏」函館友の会

【お 知 ら せ】

第20回 記念シンポジウム
～北日本における縄文時代の墓制～
平成11年12月4・5日 9時から
湯川温泉 花びしホテル
主催：南北海道考古学情報交換会
問い合わせ：市立函館博物館五稜郭分館
0138-51-2548 佐藤

【事 務 局 よ り】

会費納入よろしくお願ひいたします。
会員の皆さんからの通信をお待ちしております。